

平成 23 年 7 月 28 日  
広域環境保全局

## 節電対策の取組について

### ○ 電力需給逼迫時における関西広域連合としての節電の具体的対応策

(別紙) 国からの節電要請に対するコメント

### ○ 至近の電力需給状況等 (関西電力提出資料)

今夏の最大電力の推移 (前年との比較)

今夏の電力量実績の推移 (家庭用および商業用、ピーク発生時間帯および日量)

大口のお客さまへの節電のご協力の状況 (聞き取り結果)

## 電力需給逼迫時における関西広域連合としての節電の具体的対応策について

H23.7.28

広域環境保全局

### 経過

- 6.25 関西広域連合委員会において、電力需給が逼迫する時には住民やオフィスに対し一層の節電の呼びかけを行うことを決定
- 6.29 関西電力が、でんき予報を公表することを発表。使用率95%以上で「厳しい需給状況」
- 6.30 経済産業省が、東京電力、東北電力管内において、供給予備率が3%未満になった場合に「電力需給逼迫警報」を出すことを公表
- 7.4 関西広域連合としてのメッセージ「関西電力「でんき予報」に対する緊急対応について」を公表。経済産業省の電力需給逼迫警報に準じて、使用率97%に対応して呼びかけを行うことを決定。
- 7.6 関西電力がでんき予報で「非常に厳しい需給状況（使用率97%超）」を追加することを公表。
- 7.8 広域環境保全局として「緊急時における関西広域連合としての節電の具体的対応策について」を決定。
- 7.20 政府が「西日本5社の今夏の需給対策について」を公表。  
関西広域連合として「国からの節電要請に対するコメント」を公表（別紙）

### 呼びかけるピークカット対策（手法により文面は異なる）

- (1)家庭やオフィスにおいて、エアコンの使用を停止したり、設定温度をさらに上げてください。
  - (2)加えて、パソコン、プリンター、ファクスなどの使用を控えてください。
  - (3)ピーク時には公共施設や買物などクールスポット（涼しい所）に出かけることにより、できるだけ家庭での電気を使わないよう努めてください。
- ※ ただし、高齢者やお子さんのいるご家庭などでは、こまめな水分補給などに努めるなど、熱中症等に十分気をつけて、無理のない範囲での取組をお願いします。

### 呼びかけの手法

- (1)市町村等関係機関と連携した各機関の広報媒体（メール、防災行政無線など）を通じた周知
- (2)ホームページへの掲載など、関係各府県による各種広報媒体の活用
- (3)関係各府県等からマスコミに対する広報依頼

## 国からの節電要請に対するコメント

政府においては、西日本における需給見通しにもとづき、関西電力管内について、今夏のピーク期間・時間帯において全体として10%以上を目途に節電に取り組むこととして協力が要請された。

既に関西では、関西広域連合が呼びかけ、府県民・事業者・行政が一体となってピーク時の家庭とオフィスで10%カットを目標に節電対策に取り組んでいる。これまでのところ電力需給が逼迫する状況は発生していないが、関西広域連合として引き続きこれまでの節電への取組を行うとともに、使用率が97%を超え、停電の危険性が予測される場合には、緊急的な更なる節電の取組をお願いすることとしているので、関係府県の府県民、事業者の皆様にはよろしく願います。

国に対しては節電要請に際し、これまでの関西広域連合の取組みとの整合を十分図るとともに、過度の産業活動の抑制につながらないように特段の配慮を求めたい。

平成23年7月20日

### 関西広域連合

連合長	兵庫県知事	井戸敏三
副連合長	和歌山県知事	仁坂吉伸
委員	滋賀県知事	嘉田由紀子
委員	京都府知事	山田啓二
委員	大阪府知事	橋下徹
委員	鳥取県知事	平井伸治
委員	徳島県知事	飯泉嘉門

# 至近の電力需給状況等について

平成23年7月28日  
関西電力株式会社

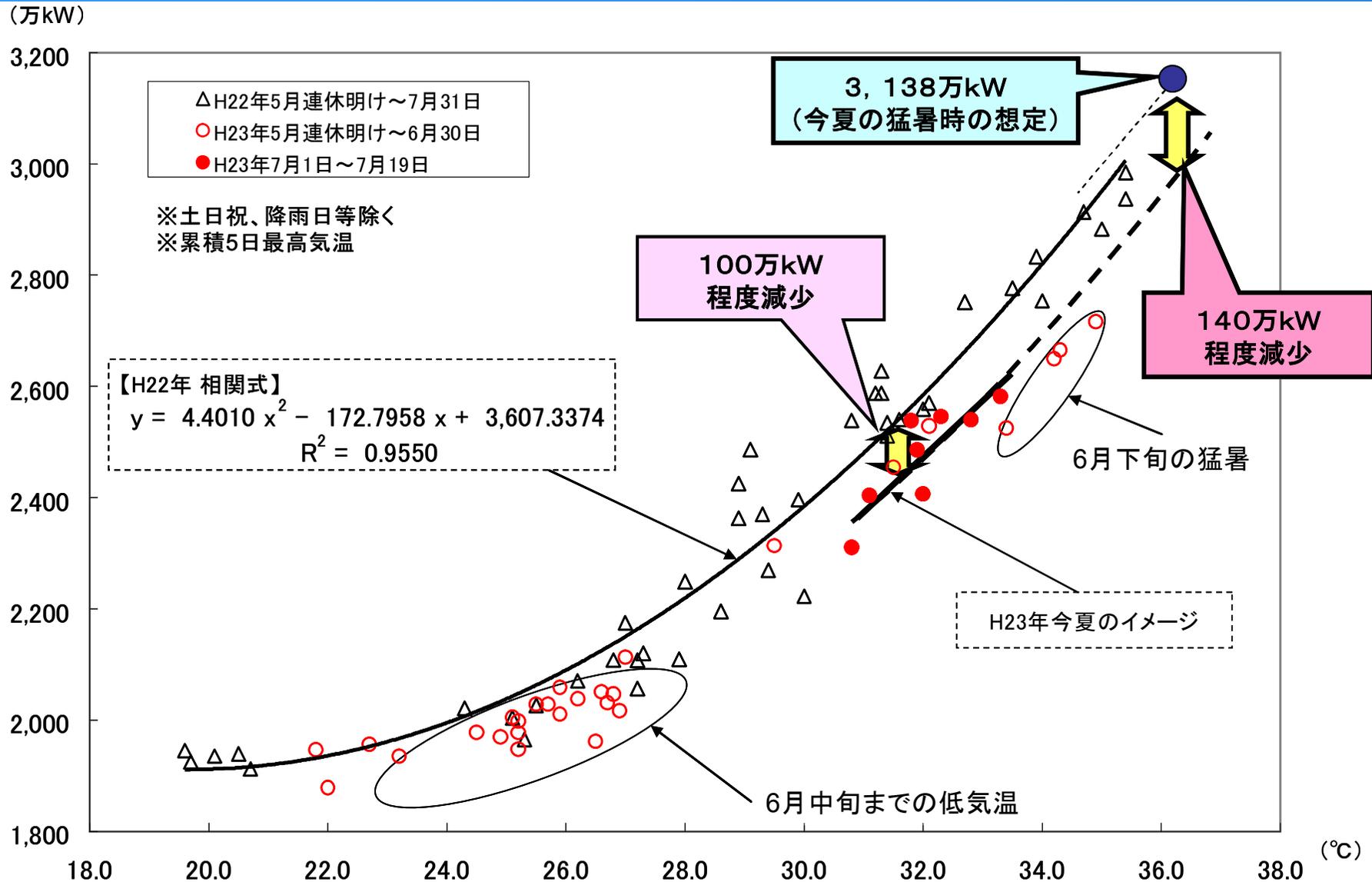
平素は、弊社事業に対し格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

関西広域連合および各府県の皆さまにおかれましては、節電の取り組みを積極的に進めていただいていることに、重ねて御礼申し上げます。

本日は、以下の4点について、資料をご提出させていただきます。

- ①今夏の最大電力の推移（5月連休明け～7/19）前年との比較  1
- ②今夏の電力量実績の推移（家庭用および商業用・ピーク発生時間帯）  2
- ③今夏の電力量実績の推移（家庭用および商業用・日量）  3
- ④大口のお客さまの節電へのご協力の状況（聞き取り結果）  4

# 今夏の最大電力の推移(前年との比較)



○足元の実績では昨年と比べて100万kW程度減少しています。この傾向が今後も続けば、今夏のピークは昨夏の最大電力3,095万kWからは100万kW程度の減少、今夏の猛暑時の想定需要3,138万kWからは140万kW程度の減少が見込めます。

○本格的なエアコンのご使用シーズンを迎え、今後高気温帯においてトレンドが変わることも想定されることから、引き続き、節電効果の把握に努めてまいります。

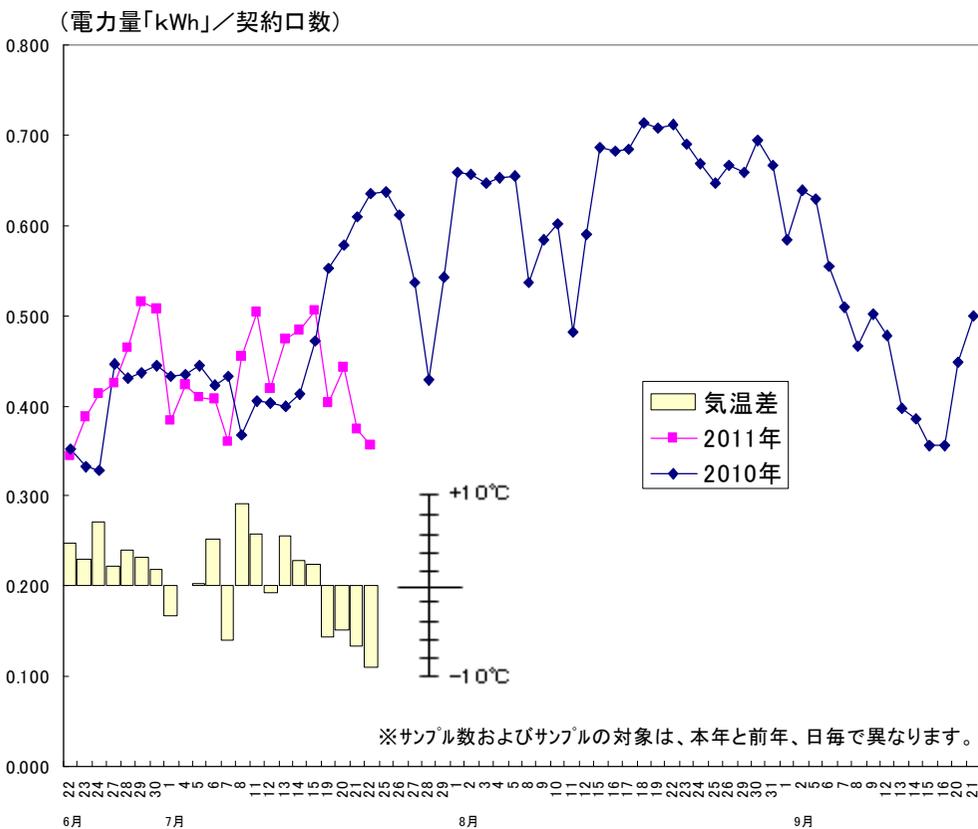
◇本年及び前年の夏季ピーク発生時間帯(平日14時台)における1口または契約電力1kWあたりの電力量実績の推移をお示しします。

◇気温は大阪市の14時の気温を使用しています。

※電力量実績はサンプルデータを使用していることから、それぞれの需要種別全体の電力量が平均化されたものではありません。

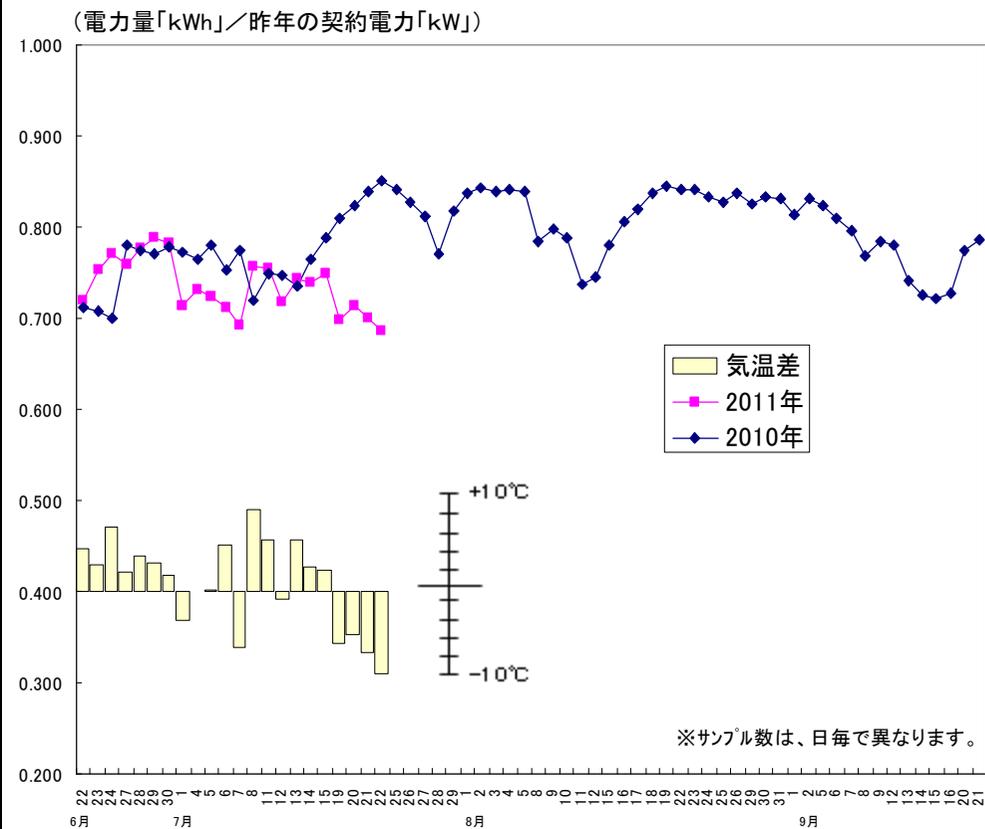
## 家庭用(従量電灯A)

家庭用(従量電灯A) 1口あたりの電力量実績の推移(14時)



## 商業用(業務用電力: 契約電力500kW以上)

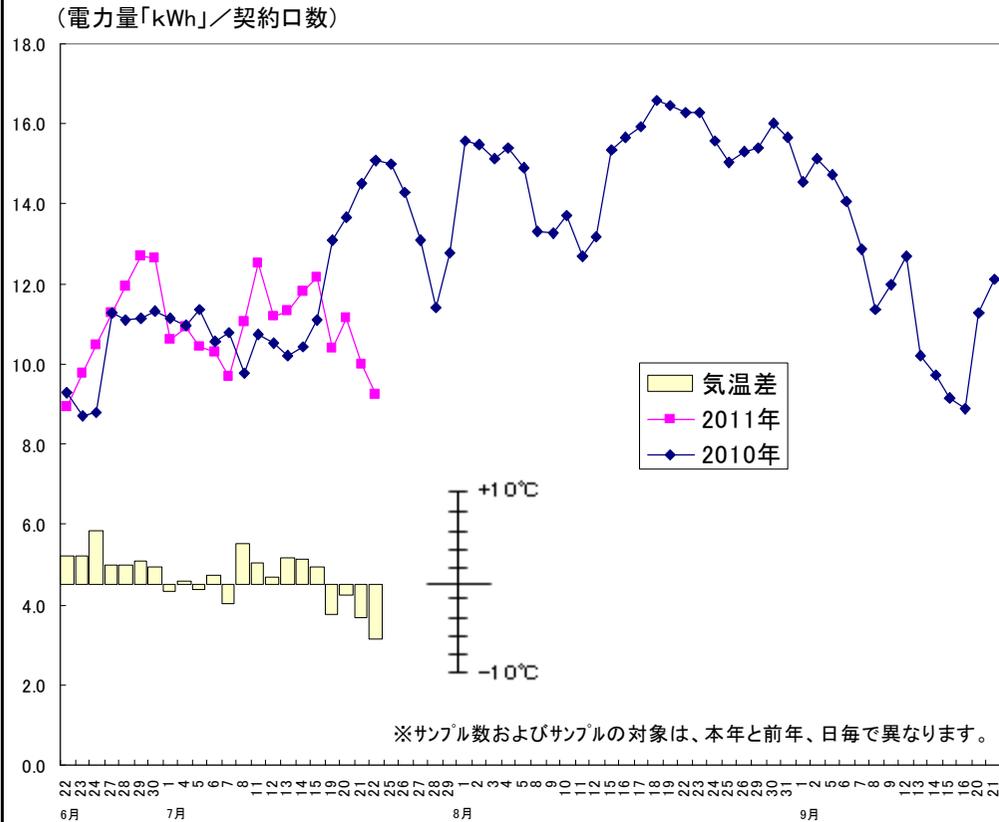
商業用(業務用電力500kW以上) 契約電力1kWあたりの電力量実績の推移(14時)



◇本年及び前年の一日(平日)における1口または契約電力1kWあたりの電力量実績の推移をお示します。  
 ◇気温は大阪市の一日の平均気温を使用しています。  
 ※電力量実績サンプルデータを使用していることから、それぞれの需要種別全体の電力量が平均化されたものではありません。

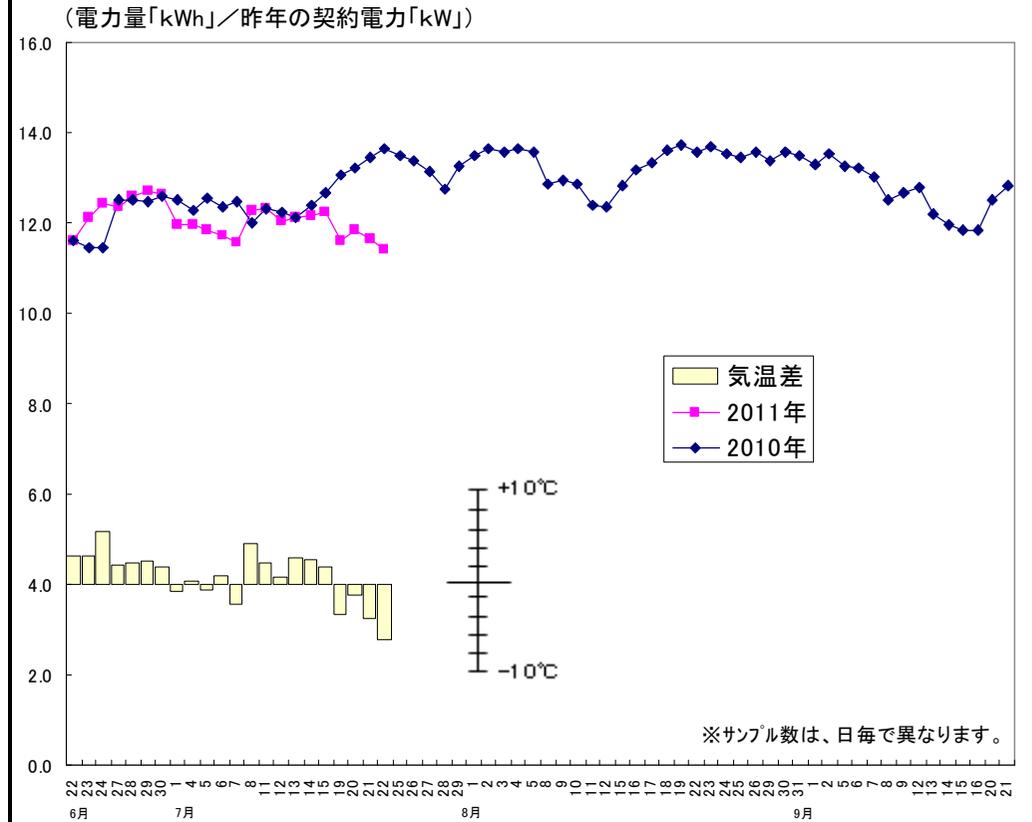
## 家庭用(従量電灯A)

家庭用(従量電灯A) 1口あたりの電力量実績の推移(日量)



## 商業用(業務用電力:契約電力500kW以上)

商業用(業務用電力500kW以上)契約電力1kWあたりの電力量実績の推移(日量)



# 大口のお客さまの節電へのご協力の状況(聞き取り結果)

6月中旬以降、対象となるほぼ全てのお客さまを訪問させていただき、約8割のお客さまから「節電を実施」とのご回答をいただきました。

	お客さまの取組状況(聞き取り)	節電ご協力の方法
産業用	<p>約3600軒</p> <p>15%程度の節電実施: 25%</p> <p>15%未満の節電実施: 49%</p> <p>節電できない(回答なし): 26%</p>	<p>お客さま数の割合</p> <p>省エネ他 60% (照明、空調、エレベーター等)</p> <p>作業日・作業時間シフト 33%</p> <p>自家発電稼動 3%</p> <p>夏季休増等 4%</p>
業務用	<p>約2800軒</p> <p>15%程度の節電実施: 16%</p> <p>15%未満の節電実施: 73%</p> <p>節電できない(回答なし): 11%</p>	<p>お客さま数の割合</p> <p>省エネ他 98% (照明、空調、エレベーター等)</p> <p>作業日・作業時間シフト 0.8%</p> <p>自家発電稼動 1.1%</p> <p>夏季休増等 0.1%</p>

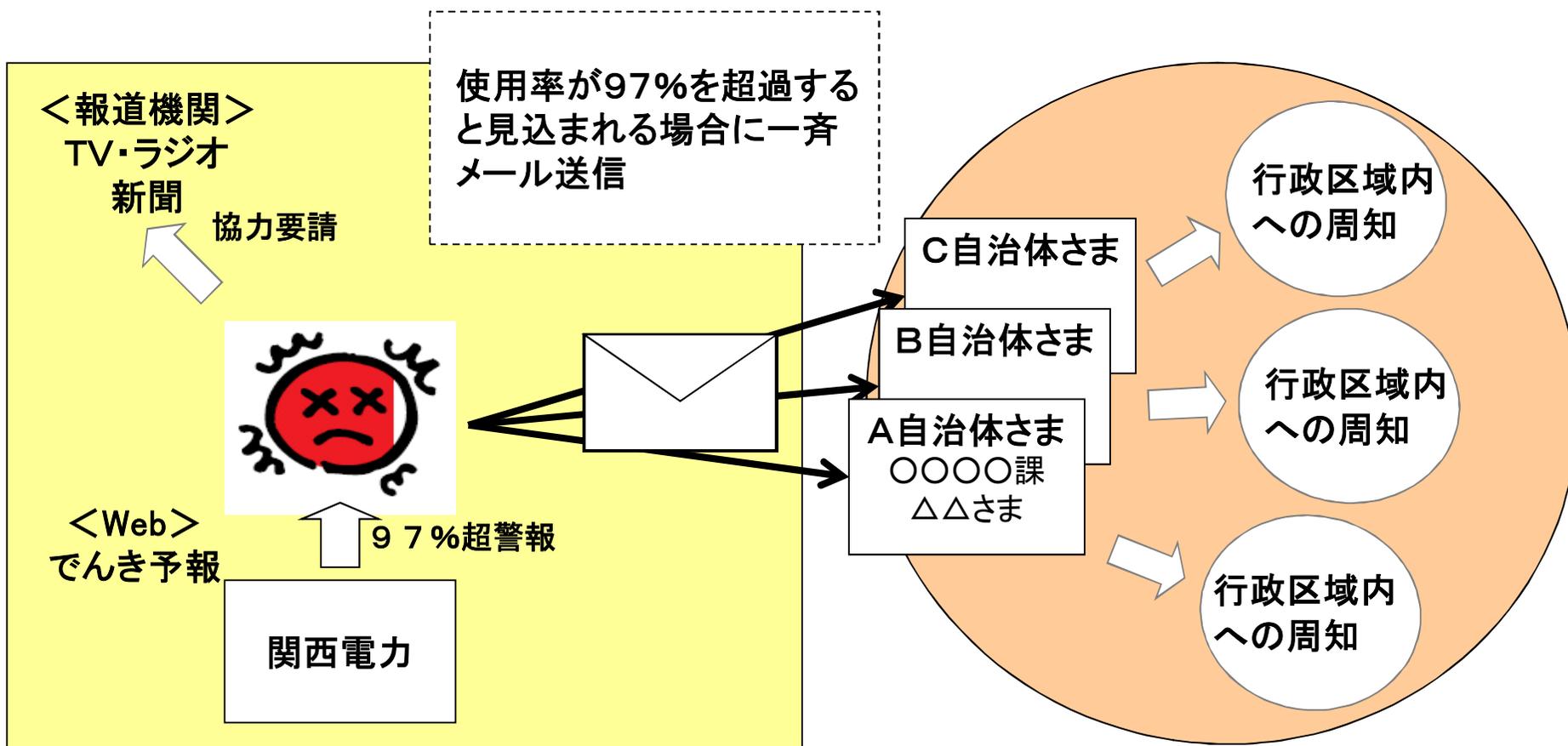
\*「大口」とは、契約電力500kW以上のお客さまです。

\*「産業用」とは、工場等のお客さま、「業務用」とは、事務所ビルや商業施設等のお客さまです。

# 需給逼迫時の自治体さまとの連携

ご参考

◇弊社は、電力使用率が一定値を超えると見込まれる場合に、供給エリアの自治体さまに対して「一斉メール」を送信し、節電のさらなる周知を図るべく、自治体さまとの連携を進めております。



弊社は、6月10日の節電のお願い以降、お客さまとコミュニケーションをとりながら、それぞれのご事情を踏まえ、生産活動や健康・安全面等に影響のない範囲で、最大限のご協力をお願いしてまいりました。現時点では、全体で140万kW程度の減少幅が見られ、これは、おおむね節電の効果によるものと考えております。皆さまに、心より厚くお礼を申し上げます。

今後も、供給力の確保に最大限の努力を尽くしつつ、お客さまに現在検討・実施いただいております節電対策を確実に実施していただけるよう、全力を尽くしてまいります。

特にご家庭のお客さまにつきましては、エアコンの本格的なご使用シーズンを迎えております。今後、関西広域連合の皆さまの取り組みとも連携させていただきながら、節電のご協力を賜れるよう、これまで以上に取り組んでまいります。

また、「でんき予報」の使用率が97%を超える状態に至りました場合には、関西広域連合の皆さまおよび自治体の皆さまにご協力を賜り、整備することが出来ました一斉メールの枠組みにより、緊急のご連絡をさせていただきます。皆さまからも、さらなる節電を呼びかけていただきたく、是非ともご協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、これまでの関西広域連合の皆さまのご協力に重ねての御礼を申し上げますとともに、今後とも皆さまと連携して、節電に向けた取り組みを展開して参りたいと考えておりますので、何卒宜しくようお願い申し上げます。